

IABSE 春季大会を 2015 年 5 月に日本において開催

2013 年 8 月

2015 年 5 月 13, 14, 15 日に関西にて IABSE の春季大会を開くことになりました。会議のテーマは「Elegance in Structures」です。

ご存知のように、IABSE（国際構造工学会， International Association for Bridge and Structural Engineers）は、80 年を越える歴史を持つ、もともと伝統のある構造工学に関する国際学会です。会員数も 3,000 名を超え、最大規模の学会でもあります。過去には、1978 年、1988 年（いずれも東京）1998 年（神戸）の三回の IABSE 秋季大会(Congress)を開いて参りました。前回からしばらく間が開いてしまい、久しぶりの日本での IABSE の会議となります。

5 月 13 日、14 日は奈良県新公会堂（奈良市）を、15 日は京都大学防災研究所（宇治市）を会場にして開催の予定です。

わが国が生み出してきたさまざまなものやシステムの特徴のひとつはきめ細かな配慮、仕上げの美しさにあるといわれています。会議のテーマを Elegance in Structures にしたのはこのようなことを考えてのことです。単に、形とか形態だけではなく、ここでは地震や風などに対する構造性能に対するエレガントな解決法、エレガントな構造のモデル化、解析法なども含め、広く Elegance in Structures を捉えています。世界から多くの方の参加を得て、奈良や宇治の古代日本建築に囲まれながら、Elegance in Structures に関する成果を発表し、議論する場にしたいと考えております。

開催までのスケジュールは以下のように予定しております。2013 年秋からの論文（アブストラクト）公募、2014 年 9 月には発表論文の決定、最終論文の提出締め切りは 2015 年 1 月頃。

久しぶりの IABSE の会議であり、日本の構造工学の存在感を改めて世界に知らしめる機会にしたいと思っております。皆様のご協力そしてご参加を強くお願い申し上げます。

IABSE2015 春季大会世話人

- 藤野 陽三（代表）（東京大学, IABSE 副会長）
- 中島 正愛（開催担当）（京都大学防災研究所, 前所長）
- 神田 順（東京大学名誉教授, 日本大学教授）
- 中村 俊一（東海大学, IABSE 技術委員会委員）
- 和田 章（東京工業大学名誉教授, 前日本建築学会会長）



新奈良公会堂



京都大学防災研究所キャンパス